

平成26年度 社会福祉法人梨の木福祉会

青梅梨の木保育園 事業報告

【法人本部】 梨の木福祉会

1. 役員会開催

第1回 平成26年5月 第2回 平成26年7月 第3回 平成26年9月 第4回 平成26年10月
第5回 平成26年12月 第7回 平成27年1月 第8回 平成27年3月

2. 役員研修

10月 理事長管外視察研修(新潟県新潟市)
12月 認可保育所および社会福祉法人の指導検査について

3. 平成26年度会計監査

実施年月日 平成27年5月28日
出席監事名 常盤三男 川杉賢一
立会役職員名 理事長 川杉英治 園長 宮川美子 主任保育士 山田浩美
事務会計 三尾美佐子 高野みゆき

監査報告の内容

理事の業務の執行の状況および社会福祉法人梨の木福祉会の財産の状況について「監事監査重点5項目指針」に従って監査を実施した。監査の結果社会福祉法人梨の木福祉会の事業報告書、決算報告書、決算附属明細表並びに財産目録は、適正であった。

〔施設〕青梅梨の木保育園

職員関係

1、職員の配置実績 << 平成26年4月1日～平成27年3月31日 >>

①常勤職員	職名	園長	主任保育士	保育士	看護師	栄養士	調理員	事務員	合計
	人数	1名	1名	16名	1名	2名	1名	1名	23名
②非常勤職員	職名	保育士	調理員	事務員	交通整理員	その他	合計		
	人数	7名	2名	1名	2名	2名	14名		

2、職員の研修参加実績 外部研修 36回 延べ参加人数 86人 他園内研修実施

3、職員会議の実績

- ① 毎月定例職員会議・献立会議実施
- ② 幼児会議・乳児会議・行事会議等、適宜実施

4、職員の健康管理実績

- ① 全職員 健康診断・結核健康診断・腸内病原菌検査実施
各種感染症罹患・予防接種状況確認
- ② 調理担当と0歳児担任および調乳担当 毎月腸内病原菌検査実施

+ 児童処遇

1、保育内容

保育目標・保育理念・保育方針(ホームページ掲載)を掲げ、保育に関しては保育課程、カリキュラム等、食事に関しては食育計画、保健に関しては保健計画にそって職員が協力し保育にあたった。現在園舎建替えに付き仮園舎で保育中のため、力を入れている園庭環境については、近隣のわかぐさ公園などの生き物にふれあいながら秋の新園舎完成を待ち望んでいる。子どもたちは自然に触れながら日々戸外遊びを楽しむことができた。幼児クラスは週1回体育指導員による運動遊びを行った。

2、行事

行事計画にそって、日本の伝統、文化としての行事、誕生会などお祝いの行事、自然に親しむ行事、教育的な行事、保護者と共に楽しむ行事、など四季折々に行事を行った。

3、入所児の健康管理実績

- ① 全園児 健康診断一年2回・歯科検診一年1回・ぎょう虫検査一年1回
- ② 0歳児 0歳児検診一毎月

+ 管理・広報

4、安全管理実績

- ・園庭、室内とも定期的に点検を行い、危険箇所は補修整備を行った。
- ・ヒヤリハット記録をつけて事故分析をし、職員で情報を共有した。
- ・交通事故防止のため警察官による交通安全指導と、交通公園の指導を受けた。
- ・AEDを設置し、地域住民にも広報活動を行った。
- ・園長・主任保育士・看護師が応急手当普及員の資格を持ち、他の職員は普通救命講習を受け、いざという時のために備えている。

5、災害対策

- ・消防署の指導により、火災、地震両方を考慮した避難訓練を毎月行い、年2回消防士の指導を受けた。
- ・地震対策として家具類の転倒防止、物の落下防止、ガラス、蛍光灯の飛散防止措置に努めた。
- ・非常用備蓄食品・防災用品の入れ替え購入を行った。

6、放射能対策

昨年に引き続き、新聞やニュースで情報を収集し、放射能汚染に対処している。子どもたちの内部被曝を防ぐため、業者に安全な産地の食材を届けてもらう配慮を続けている。園児の飲料水および乳児のミルク用には、1階と2階に逆浸透膜浄水器を設置している。

7、施設の整備状況

現在26年度、27年度2ヵ年計画で建て替え中。27年秋完成予定。

8、保護者との関係

- ・新入園のご家庭には、入園のしおりを配布し説明会を行った。
- ・毎月、園だより、クラスだより、保健だより、献立表を配布し、園の様子のお知らせとお願い等を行った。
- ・ホームページ、園ピュータ(一斉送信ツール)により迅速な連絡およびサービスを行った。
- ・保育参観、懇談会、個人面談、保護者参加の行事などにより保育理念・方針を知っていた だくとともに、情報を共有し、関係性を深めることができた。
- ・行事ごとにアンケートを取って次年度に向けて意見を聞いた。

9、地域社会との関係

- ・毎月、地域とパートナー家庭に、「青梅梨の木保育園だより」を回覧、送付している。
- ・園の行事にパートナーさんと、地域の子育て家庭を招いた。5回
- ・育児講座を3回開催した。(保育・健康・食育)
- ・園の行事に地域の老人、小中学生を招いた。3回
- ・地域の行事に参加、協力した。6回
- ・健康センターの企画を通じて妊婦さんに育児体験をしてもらった。